

# 令和4年度混成団訓練検閲



第53号  
令和4年12月14日

団長統率方針  
**任務の完遂**  
団長要望事項  
創意と情熱  
心技体の充実

駐屯地司令  
要望事項  
作戦基盤の確立  
環境の改善  
地域との連携



web site

## 常即一体となり任務完遂せよ

中部方面混成団（団長 青井 常治1等陸佐）は、令和4年11月29日（火）から12月4日（日）の間、あいば野演習場において、第49普通科連隊（連隊長 後藤 義之1等陸佐）に対する訓練検閲を約3年ぶりに実動により実施しました。

諸職種協同部隊として、第10師団、第4施設団、中部方面後方支援隊、統裁支援として、中部方面衛生隊、大津駐屯地業務及び隊第14普通科連隊の協力を得て、12月1日に訓練開始式を行い、統裁官（混成団長）は、「日頃の練成成果を遺憾なく発揮し、部隊の名誉をかけ、『任務の完遂』に向け連隊一丸となって取り組んでもらいたい。合わせて、『適時適切な指揮幕僚活動』、『基本・基礎の徹底』、『健康管理・安全管理』の3点を要望事項とし、第49普通科連隊が後藤連隊長を核心として常即一体となり、与えられた任務を完遂することを期待する。」と訓示しました。

本検閲は、30キロメートルの徒步行進、警戒部隊の駆逐、第一線目標への攻撃を2夜3日で行い、最終日の3日には連日の冷たい風雨による疲労困憊の中、連隊第一線目標を攻撃奪取するとともに、ヘリボン対処を実施して状況を終了しました。

状況終了後、統裁官から「要望事項の3点を概ね達成し、連隊に与えられた任務を齊々と遂行したものと認める。引き続き連隊長後藤1佐を核心として、第49普通科連隊が更に練度を向上し、各種任務を完遂できるよう、創意と情熱をもって邁進することを期待する。」と総評されました。



編成完結式



第47普通科連隊長(右)  
第49普通科連隊長(左)



装面動作



戦闘指導



徒步行進



検閲優秀隊員表彰



表彰・坂井即応予備2曹



表彰・植村即応予備2曹

### 検閲優秀隊員紹介

- ・連隊本部
- ・田口曹長
- ・本部管理中隊
- ・中吉1曹
- ・池田即応予備3曹
- ・第1中隊
- ・疋田3曹
- ・第2中隊
- ・賀来即応予備3曹
- ・第3中隊
- ・有村即応予備2曹
- ・植村即応予備2曹
- ・坂井即応予備2曹
- ・第4中隊
- ・萬代3曹
- ・半明即応予備曹長
- ・第5中隊
- ・北山即応予備士長
- ・重迫撃砲中隊
- ・安井即応予備曹長

## Photo Collection



集合写真



前方警戒中の隊員



負傷隊員の救護活動



美味しいごはんを調理中



対抗部隊



統裁会議

## 大津祭



曳山巡行



集合写真

大津駐屯地に勤務する隊員23名が、令和4年10月9日に、新型コロナウイルスの影響で、3年ぶりに開催された「大津祭」に参加しました。「大津祭」は、大津市の天孫神社の江戸時代から伝わる湖国三大祭の一つで、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統ある祭であり、大津駐屯地は、地域との交流を図るため昭和50年から参加しています。隊員は、江戸時代から受け継いでいる13基ある曳山の一つ「石橋山」の曳き手として、地域の子供たちが奏でるお囃子と「からくり」の披露を観客とともに楽しみながら、一日かけて大津市内を練り歩きました。

## 令和4年度方面統制演習場秋季整備



潜入射場整備中の隊員



整備後の幹線道路



整備前の幹線道路

中部方面混成団は、令和4年10月27日（木）から11月5日（土）の間、あいば野演習場において、方面隊統制演習場秋季整備に22名の隊員たちが参加しました。整備は、潜入射場周辺の機能維持及び密林化防止等の伐採作業を行いました。隊員は、今後演習場を使用する各部隊等が、安全かつ快適に訓練等を円滑に行えるよう、当初の計画以上の整備を効率的に実施し、1件の事故もなく整齊と任務を完遂する事ができました。



第49普通科連隊

令和4年度職場体験

第49普通科連隊(連隊長 後藤 義之 1等陸佐)は、令和4年11月9日に、豊川駐屯地において、三河地区の中学生42名に対し、職場体験として救急法、目標搜索及び軽装甲機動車の体験試乗を行いました。

救急法では、隊員から説明を受けたあと、2人1組のペアを作り、止血・応急処置を楽しそうにお互いに包帯を巻いていました。目標搜索では、森の中に隠していた時計、ぬいぐるみ、車の玩具等、合計10個の目標を発見するため、集中して双眼鏡を覗き込み、多数が発見できずにいる中、目標全てを見つけ出した学生がおり、ほかの学生や隊員たちを驚かせていました。

職場体験を終えた学生たちからは、「楽しくて、とても貴重な体験ができました。」や、「自衛隊を進路の一つとして考えていきたいです。」と感想があり、自衛隊の理解を深めることができた職場体験となりました。



第47普通科連隊

令和4年度第4次連隊野営

第47普通科連隊(連隊長 松本 哲治 1等陸佐)は、令和4年10月6日から12日の間、日本原演習場において、第4次連隊野営訓練(第3中隊・第4中隊・施設作業小隊及び通信小隊)を実施しました。

訓練は、各中隊等が速やかに目標地域へ進入し、防御陣地を構築するとともに、敵の攻撃に対処するべく火力に接続した障害を設置した後、不測事態対処及び夜間戦闘要領の指導・予行等を実施しました。その間、施設作業小隊は、地雷原構成中に敵の化学攻撃を受け、汚染地域解明及び車両等の除染を行い、人員・装備品等の損耗を最小限に抑えました。

通信小隊は、通信網を構成中に敵の通信妨害に対して通信網を適切に制御し、連隊通信の維持・運営に努め、各中隊及び小隊は無事任務を完了しました。

連隊は、本訓練で常即との間に醸成した信頼関係を、これからの日々の訓練を通じて更に深化させ進進してまいります。



目標を探す学生



ペアでの止血・応急処置



救急法の説明



除染作業



対機甲戦闘



作戦会議



武器授与式



小銃の概要説明



第4陸曹教育隊長訓示



小銃の概要説明



ニイマル 20式5.56mm小銃 導入行事

第4陸曹教育隊(教育隊長 木場 元大 1等陸佐)は、令和4年11月11日(金)に、20式5.56mm小銃導入行事を行いました。

普通科教育中隊の基幹隊員用に、個人装備品として、約20丁装備し、当面は同小銃の取扱操作について助教を主体に習熟させて、方面隊隷下部隊に同小銃が装備された時、滞りなく教育に反映できるように練成を積み重ねる計画です。

木場隊長は、「武器を扱う自衛官として、最新の小銃が導入されて非常に嬉しい。今後、基幹隊員には20式5.56mm小銃に慣れ親しんでもらいたい。」と訓示を述べました。

隊長の訓示を受け、方面隊唯一の准曹教育部隊であることの誇りと、重責を再確認するとともに、准曹教育の更なる質の向上に対する決意を新たにしました。



団長(左)・橋爪氏(右)



勲記の伝達

大津駐屯地(司令 青井1等陸佐)は、大津駐屯地において、令和4年11月22日に、中部方面混成団友の会 事務局長 橋爪 健司氏に対して、危険業務従事者叙勲の勲章及び勲記を伝達しました。

危険業務叙勲は、著しく危険性の高い業務に精励した者のうち、国家または公共に対して功労のあるものが対象で、その功績を讃えられ叙賜されました。

令和4年度秋の叙勲伝達



スピーチ技法教育 最先任上級曹長課程



総合訓練(命令下達) 陸曹上級課程

第4陸曹教育隊は、令和4年11月16日から、第205期陸曹上級課程約140名、11月18日から、第6期最先任上級曹長課程約20名に対し、それぞれ課程教育を開始しました。

陸曹上級課程は、小部隊の指揮官としての知識及び技能を学び、いかなる場合でも任務遂行できる、精強な部隊を育成する中核になれるよう、教育に参加しています。

最先任上級曹長課程は、陸曹上級課程を修了した陸曹長または准陸尉が教育を受け、連隊及び群・大隊の最先任上級曹長としての職務遂行に必要な知識及び技能の習得に日夜励んでおります。

第6期最先任上級曹長課程 第205期陸曹上級課程

総合訓練



武器・射撃



混成団は、第109教育大隊(本田 成弘2等陸佐)及び第110教育大隊(土橋 晃輔2等陸佐)が担任し、新入隊員教育を実施中です。教育が全盛期となり、隊員たちの活躍の一部ですが、掲載します。

新入隊員教育 訓練実施風景